

サーキット・ライダー 2004年 4月

信じる者の幸い

マリアは墓の外に立って泣いていた・・・イエスはいわれた。「婦人よ、なぜ泣いているのか。だれを捜しているのか。」マリアは、園丁だと思って言った。「あなたがあの方を運び去ったのでしたら、どこに置いていたのか教えてください。わたしが、あの方を引き取ります。」イエスが、「マリア」と言われると、彼女は振り向いて、ヘブライ語で、「ラボニ」と言った。「先生」という意味である。イエスは言われた。「わたしにすがりつくのはよしなさい。まだ父のもとへ上っていないのだから。わたしの兄弟たちのところへ行行って、こう言いなさい。「わたしの父であり、あなたがたの父である方、また、わたしの神であり、あなたがたの神である方のところへわたしは上る」と。」マグダラのマリアは弟子たちのところへ行行って、「わたしは主を見ました」と告げ、また、主から言われたことを伝えた。

ヨハネ 20：11－18.

復活をいくら論じたところで信じる気持ちのない人には「だからどうした？」程度のことにすぎないのではと思います。しかし信じる者にとっては大きな慰めであり、希望であり、神の約束です。それは自分勝手に生きて神から離れている人間が、その身勝手（罪）を赦され、再び神に交わり、神と共に生きるということです。土壇場でイエスを裏切った弟子達、イエスを十字架に架けた人々を赦すことによって、イエスは「神の愛」とは「赦し」であり「恨みを抱かず」「他者を受け入れること」であることを示して下さいました。さらに復活によって神の御心に従い、人を赦し、受容することが決して無駄でないばかりか、信仰を持って神の御心を行う者には「永遠の命＝神との交わり」が与えられる事を証明して下さいました。

冒頭の引用を見る限りマグダラのマリアは復活の出来事を理解してはいないようでした。しかし彼女は誰よりもイエスを信じ、イエスを自分の救い主として愛していました。マリアはかつて罪に溺れていました。人々から「罪の女」と呼ばれ蔑まれ、自らもその底なしの泥沼に身を置き、人としての尊厳を失い、暗闇に生きていました。イエスはそんなマリアを他者と全く同等に受け入れ、一切の罪を赦しました。マリアは救われて後いつもイエスの一行に従い、十字架の死までイエスの側から離れず見届けました。ですからイエスの墓を守りつづけるのは彼女の責務だったのです。そのマリアの前にイエスは現れました。初め、マリアは悲しみに耳がふさがれ、目も涙で溢れイエスの声、姿に気づきませんでした。しかしイエスが再度優しい声で「マリア」と呼びかけた時、彼女はハッとしてイエスに気づき「ラボニ」と呼び、イエスにすがりつくこうとしました。イエスが他の誰でもないマリアに最初に復活の姿を現したのは、彼女の深い信仰、愛の為です。

昨年6月、パークリッチ合同メソジスト教会に来ていた一人のアメリカ人男性（私と同年代）がアルコール中毒から深刻な臓器機能不全を招いて入院しました。私はちょうど合同メソジスト教団ニュージャージー教区の年度総会に参加中でしたが、知らせを受けて急ぎ帰って来て病院を訪問しました。そこで見た彼は肝臓、腎臓、すい臓が殆ど働かなくなっており、黄疸が出て余命幾ばくもない姿になっていました。私は時折病院を訪問し今までに何度となく人々の臨終に立ち会いましたが、彼の「死に枯れ」し黄疸が出た肌の色には「人はここまで黄色くなるものなのか！」と驚かされました。彼は集中治療室に4週間以上いた後、普通治療室に移されました。が、それは良くなったからではなく、医者が「もう為す術がないから」という理由によるものでした。移動した直後、私は彼の母親、姉、家族と話し合い、母親が「生命維持装置を外す決断をした。」と報告され、それを受けて私は葬式、埋葬の手配を葬儀屋と整えました。

しかし、いざ維持装置を外すという日になって、母親が「祈り続けたけど、どうしても今外す事はできない。」とそれを取り止め、神の御心を信じて、医者に頼み込み、生命維持装置を外さずに治療を続けることにしました。入院から2ヶ月後、彼はリハビリテーション施設に移されました。勿論、その間、何度も危ない時がありましたが持ち直し、とうとう10月中旬に退院しました。彼は今も教会に来ています。医者や看護婦が「いつ亡くなっても不思議ではない。」と言っていたので、やはりこれは奇跡としか言いようがありません。でもこの奇跡は偶然に起こったのではない。母親の強い愛、神を信じる心があったからです。神を信じ、愛する者には必ず神の憐れみ与えられる。イエスの復活も信じる者には掛け替えのない神からの贈り物であり、愛の証、希望です。ハレルヤ！

吉松 純

*** 礼拝は午後 4 時から。Jr.教会（教会学校）も 4 時からです。子供達は初め大人の礼拝に出席し分級に移ります。**

*** 聖日予定：**

- 4 月 4 日：棕櫚の聖日礼拝、聖餐式、
- 1 1 日：復活祭礼拝、司会：荒美俊三兄、礼拝後、持ち寄りによる祝会。エッグ・ハント
- 1 8 日：聖書の学び、洗礼準備会、午後 3 時、自由祈祷会、午後 3 時 3 0 分、礼拝。
- 2 5 日：聖書の学び、洗礼準備会、自由祈祷会、礼拝、司会：荒美和子姉、
- 5 月 2 日：聖書の学び、洗礼準備会、自由祈祷会、聖餐式

*** 受難週・聖なる週の特別礼拝**

- * 4 月 8 日、洗足の木曜日・聖木曜日礼拝。午後 7 時 3 0 分より。ウエストウッド合同メソジスト教会にて。礼拝(英語)にて最後の晚餐を劇化します。
- 9 日、聖金曜日礼拝。午後 7 時 3 0 分より。パークリッジ合同教会にて。松尾孝恵姉のスピリチュアル・ダンス、エイドリアナ・コウ姉のハープ演奏、タナブレイ（ろうそく消灯）礼拝。

*** 集会、行事予定と報告**

- * 1 4 日（水）午後 7 時 3 0 分より聖書研究会。教会日本語オフィス。旧約聖書、ルツ記
- * 1 6 日（金）午前 1 0 時 3 0 分より聖書の学び。牧師館にて。復活について
- * 2 0 日（火）午前 1 0 時 3 0 分より聖書の学び。Fort Lee Bethany 合同メソジスト教会で。親と子をテーマに学びます。
- * 2 0 日（火）午後 7 時 1 5 分、ホロコースト追悼行進と式。町中の教会が参加します。どうぞ皆様ご参加下さい。教会に集合して町の中にあるユダヤ教寺院まで歩きます。

*** 聖書の学び、洗礼準備会、自由祈祷会のお知らせ**

- * 4 月 1 8 日より、毎週日曜日、礼拝前の午後 3 時より、洗礼準備を兼ね聖書の勉強会を始めます。どなたでも参加できますが、テキストを用意する為、継続参加をお願いします。詳しくは吉松牧師まで。
- * また早く来て祈りたい方の為、礼拝堂を午後 3 時 3 0 分より開放いたします。どうぞご利用ください。

*** 御協力お願い致します。**

- * ハーベスト・タイム放映の為、献金、お祈りのご協力をお願いいたします。
- * 使用済み切手を集めています。ご協力下さい。消印のついた切手の周り 1 センチくらいの余白を残して切とって下さい。切手は日本キリスト教海外医療協力会（J O C S）に送ります。J O C S は切手を換金し得られた収益金で海外に医療関係者を送ると共に医療関係者の育成をしています。
- * H O P E（The Heart of Pediatric Electrophysiology）というボランティア団体にもご協力下さい。Electrophysiology という特有の心臓病を患う子供を救う為、寄付金を募り患者や家族に送ったり、病院などの情報交換をしています。募金を下さる方はあて先を H O P E としてください。
- * 昨年よりケニアの恵まれない子供達やエイズの患者さん為に特別献金をしています。ご協力下さい。

連絡先：英語オフィス（2 0 1）3 9 1－5 4 9 9 日本語及びファックス（2 0 1）5 0 5－0 3 4 7
ホームページ：<http://umc-japan.org> 吉松牧師宅（2 0 1）3 9 1－2 2 0 8 pastor@umc-japan.org
教会学校担当：松尾孝恵姉（2 0 1）8 0 2－1 7 6 9 takae723@hotmail.com

Happy Easter!